



## つなぐちゃんベクトル

社会福祉法人大阪手をつなぐ育成会社内誌 臨時増刊 286号 2011.3.8 発行 社会政策研究所

=====

### 経産省で社会保障改革の議論スタート

キャリアブレイン 2011年3月7日

経済産業相の諮問機関である産業構造審議会の基本政策部会（部会長 = 伊藤元重・東大大学院経済学研究科教授）は3月7日、初会合を開き、社会保障改革に向けた議論をスタートさせた。4月下旬までに5回の会合を開いて提言を取りまとめ、政府・与党の社会保障改革検討本部や新成長戦略実現会議に報告することを想定している。

同部会は、「国民が安心できる持続可能な社会保障は、活力ある安定した経済を基礎とするもの」との現状認識に立っている。このため、少子・高齢化が進む中で、経済成長と両立させた持続可能な社会保障の在り方などを検討する。

初会合では事務局が今後の検討項目として、医療や介護・健康に関連した分野を、新たな成長の源泉にする取り組み 国民全員が生きがいをもって働ける社会を実現するための取り組み 経済成長と統合的な社会保障の給付と負担の在り方—を示した。

次回会合は3月23日に開かれる予定。

### 自閉症の症状出現のメカニズム解明- 表情を認識する脳部位に障害

キャリアブレイン 2011年3月7日

相手の気持ちが読めない—。自閉症の特徴的な症状とされる社会性の障害が現れる原因が、アセチルコリン神経というヒトの表情を視覚的に認識する脳の部位の機能低下に関係していることが明らかになった。この研究成果は、浜松医科大学と中京大、NPO 法人アスペ・エルデの会で作る共同研究チームによるもの。3月7日付で、米国の専門誌「Archives of General Psychiatry」に掲載された。

自閉症は、相手の気持ちが読めない社会的相互作用の障害 自分の気持ちをうまく伝えられないコミュニケーションの障害 「こだわり」として限定され、いつも同じような形で繰り返される行動・興味・活動—という3つの特徴を持つ神経発達障害。

研究では、このうち「相手の気持ちが読めない」という特徴に着目。その原因は以前から、相手と視線を合わせないためと考えられてきたが、脳の紡錘状回というヒトの表情を



自閉症の症状のうち「相手の気持ちが読めない」という社会性に関する障害に関するメカニズムを解明し、記者会見を開く研究チーム。中村准教授は左端（3月4日、文科省内）

認識する部位でアセチルコリン神経の活動が低下していることが判明。さらに、アセチルコリン神経の活動異常を頭部専用 PET（陽電子放射断層撮影）で画像としてとらえることに成功した。

アセチルコリン神経の神経終末には、アセチルコリンエステラーゼ（AChE）というたんぱく質が存在する。神経の機能が低下すると神経終末が少なくなり、AChE もそれに伴って減少する。PET は生きた脳の神経の働きをとらえることが可能で、今回の研究では、自閉症の 18 歳 - 33 歳の 20 人と同年代の健常者 20 人をそれぞれ調べたところ、自閉症の人では、紡錘状回のアセチルコリン神経の機能が健常者より低下しており、その程度が大きいほど「相手の気持ちが読めない」という症状が強いことが分かった。

掲載に先立ち、文部科学省で記者会見した研究チームの中村和彦・浜松医科大精神神経医学講座准教授は、「自閉症は、喜怒哀楽を示す顔を認知することができないというのが特徴。『見る』ということは、情報の中で 9 割程度を占める。その情報を解析する脳の部位に障害が確認されたことで、今後の療育の在り方や工夫につながるエビデンスになれば」と述べた。

## 障害者郵便割引不正：証拠改ざん 「真実、無視された」 上村被告インタビュー

毎日新聞 2011 年 3 月 8 日

### 全面可視化導入訴え

大阪地検特捜部の「証拠改ざん・隠蔽（いんぺい）事件」で、押収されたフロッピーディスクのデータを改ざんされた厚生労働省の元係長、上村勉被告（41）が毎日新聞のインタビューに応じた。事実と違う供述調書に署名させられた経験から「取り調べを全面可視化（全過程の録音・録画）しなければ冤罪（えんざい）がまた生まれる」と訴えた。証拠隠滅罪で起訴された元主任検事、前田恒彦被告（43）の公判は 14 日に始まる。上村元係長は「本当のことを正直に話してほしい」と求めた。【玉木達也、村松洋】

上村元係長は、実体のない障害者団体「凜（りん）の会」（解散）に郵便料金の割引を認める厚労省の証明書を発行したことを巡り、09 年 5 月、特捜部に逮捕された。その時、「覚えていることを洗いざらい話をしよう」と決意したという。取り調べでは、省内の稟議（りんぎ）を経ずに勝手に証明書を作り、すべて自分 1 人で行ったと述べた。だが特捜部は上司の厚労省元局長、村木厚子さん（55）の関与にこだわった。

上村元係長は「僕は犯した罪を正直に話した。しかし検事は供述調書に書かなかった。検事のストーリーに合わないことは聞き流された。『私が単独でやった』という事件の核心には全く耳を貸さなかった」と振り返る。

さらに「検事は『他の人はこう言っているのに、上村さんだけ違う方向を向いているのはなぜ?』と言った。『なぜ』と言われても僕は記憶の通りに話している。それを供述調書にしてくれればよかったんだ」と続けた。次第に「ここ（取調室）にいたんじゃだめだ」と考えるようになった。そして、疲れやあきらめもあって、村木さんに指示されて証明書を作ったという供述調書に署名したという。

取り調べを思い出すと今でも涙が出る。「検察は真実を究明するのが仕事だと思い、事実を話して協力したのに無視された」。今月 18 日から東京、大阪、名古屋地検の特捜部で始まる取り調べの一部可視化については、「一部可視化では（検察側にとって）いいところ取りになる。検察は全く反省していない」と憤った。

自らは今、大阪地裁で公判中。検察の不正義を訴え公訴棄却を求めている。「僕は最初から本当のことを話している。その気持ちだけが自分を支えている」と声を震わせた。

## 体罰：知的障害者施設の通所者、殴られ負傷 県が立ち入り調査 - - 松戸 / 千葉

毎日新聞 2011 年 3 月 8 日

## 昨年12月に

社会福祉法人「松里福祉会」が松戸市で運営し、知的障害者が通っている障害者生活介護施設「第二わかば園」(同市五香)で、20代の男性通所者が昨年12月、職員から頭を殴られる体罰を受けて負傷していたことが7日分かった。県と松戸市はすでに施設を立ち入り調査し、必要に応じ再発防止を指導する。【黒川晋史、森有正】

第二わかば園は、92年7月に開所した通所型施設で、同園によると現在18歳から40代前半の知的障害者約70人が通っている。

同園などによると、昨年12月17日、通所者約10人が牛乳パックから和紙を作る作業をしていたところ、20代の男性通所者が別の通所者に手を上げるいざこざがあった。仲裁に入った30代の男性職員が男性通所者に対し、別室で「急にこんなことをされたらびっくりするだろう」と言って頭をげんこつで殴り、打撲傷を負わせたという。男性職員は園に「痛みを理解させるために殴った」などと説明していた。5日後に家族から電話で打撲傷について問い合わせを受け、施設はすぐに謝罪したという。

また、同園によるとこの男性通所者は昨年2月上旬にも、肋骨(ろっこつ)にひびが入るけがをした。園の管理記録によると負傷した時期に施設内で「行動抑制」(職員が取り押さえる行為)を受けていた。同園は、行動抑制と負傷の因果関係が不明だとして県などへの報告は見送ったという。

同園は今年1月、県に昨年2月と12月の2件の負傷事故について報告書を提出。県などは2月中旬、障害者自立支援法に基づいて園に立ち入り調査を実施した。

## 障害者駐車場 県、利用証発行へ 4県と相互利用も 山形、福島、群馬、栃木

茨城新聞 2011年3月8日  
群馬県で使用されている身障者等駐車場利用証

県は身障者等専用駐車場の適正な利用を図るため、交付された人が乗った車に限り駐車できる利用証発行を10月をめどに始める。開始に当たっては、北関東自動車道全線開通も見据え、既に共通利用を進めている山形、福島、群馬、栃木の4県の相互利用にも加わる予定。県厚生総務課によると、利用証発行により、健常者の不適正利用を防止し、見た目では明確に分からない障害者らがためらわずに利用できるようになるという。

7日の第1回定例県議会で荻津和良氏(いばらき自民)の一般質問に、山口やちゑ副知事兼保健福祉部長が答えた。

身障者等専用駐車場はショッピングセンターや公共施設などに設置され、出入り口付近の便利な場所にある。このため、健常者が「5分で買い物が済む」「風雨が強いから」などの身勝手な理由で駐車してしまうケースや、「車いすマーク」は市販で購入できることから、不正利用も少なからずある。一方、知的障害者や精神障害者、心臓機能障害のある人など、見た目では分からない人たちにとっては、逆に「不正利用しているのでは」と見られ、気兼ねしていたケースもあるという。

大手スーパーなどでは駐車場にバーを取り付け、対象者にバーを下げるリモコンを事前に与えているが、経費が掛かるため、設置は多くない。そのため、県は共通の利用証が必要と判断した。

交付の対象者は障害者のほか、妊娠7カ月～産後6カ月の妊産婦や要介護1以上なども含まれる。申請に当たっては障害者手帳や母子手帳などで確認。ただし、窓口申請が困難な人のための代理申請や郵送申請も認める。利用証の申請・発行は各市町村の協力を得て



福祉担当課や支所の窓口を想定している。

利用証はルームミラーに掛けるタイプを予定。同様の利用証は既に神栖市を含め 17 県 2 市で導入されている。県は県境地域の住民や、観光等で行き来する場合でも利用しやすいよう、栃木や群馬など 4 県の相互利用に加わる予定だ。

## パナソニック 障害者向け意思伝達装置発売 体のわずかな動きで操作

サンケイ Biz 2011 年 3 月 7 日



### パナソニックの「意思伝達装置」

パナソニックは 7 日、体のわずかな動きでスイッチを操作し、文章を作成できる障害者向けの意思伝達装置「レッツ・チャット」を 4 月 1 日に発売すると発表した。国内 10 社のテレビに対応したりリモコン機能も搭載した。

言語と上肢に障害を持つ人が対象で、手足や頬の動き、目の瞬き、呼吸など、わずかでも動く体の一部を使ってスイッチを操作。順番に点灯する文字盤や音声ガイドに従ってスイッチを押すことで文章を作成する。画面に表示したり印刷したりすることで、周りの人と意思疎通ができる。

本体価格は 16 万 8 千円（税別）だが、障害者を対象にした福祉用具購入補助制度を活用すれば、1 割程度の負担で購入できる。

## 紙ごみ回収：ロール紙へ再生 熱海の観光旅館、「エコ温泉」目指し / 静岡

毎日新聞 2011 年 3 月 8 日

熱海市の熱海温泉で、ホテルや旅館から出る不要になった紙類を回収し、独自のデザインのトイレットロールを作ろうとの「エコ温泉」化を目指した取り組みが本格的に始まった。最終製品への仕上げを福祉作業所で行うなど環境、観光、福祉が協力する「心の循環」も目指す。

事業は「熱海温泉紙資源ごみ循環プロジェクト実行委員会」（委員長・森田金清市観光協会会長）が主体に行う。2 日は各旅館から 1・3 トンが集まり、契約した製紙会社に搬送した。今後、毎月 1 回約 3 トンの回収を目指す。

熱海温泉では、使用済みの割りばしを回収し再資源化に取り組んでいるが、これまでは紙パックやはし袋などの紙類は焼却処分されてきた。これをトイレットロールとして資源化し、回収量に応じて製紙会社から再生ロール紙を無包装で受け取る仕組みを作る。

また、このロールに、市内の福祉作業所のメンバーが熱海温泉独自の包装紙を巻きつける準備を進めている。これを福祉作業所の新たな仕事にし、障害者の自立支援にも役立てたい考えだという。

森田実行委員長は「紙質や色、香りなど熱海温泉ならではのロールをつくる。包装紙も全国から募集する。紙回収を街全体の取り組みに拡大できるといい」と話している。【鈴木道弘】

たまには太陽の子・手をつなく、たまにはつなぐちゃんベクトル、たまにブログたまにはチェック



大阪市天王寺区生玉前町 5-33 社会福祉法人大阪手をつなく育成会 社会政策研究所発行